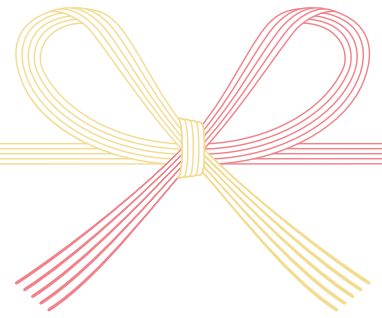


# 「初節句」について



## ■贈答慣習

誕生後初めての節句の日に無事の成長を祈願しお祝いする慣習です。

■**女兒は三月三日の「上巳（じょうし）の節句（俗に桃の節句 ひなまつり、など）」に、「ひな壇」を贈ります。**

■**男児は五月五日の「端午の節句（菖蒲の節句）」に「武者飾りや鯉のぼり（地方によってフラフの幟）」を贈ります。**

これらの贈答品は、母親方の実家から贈るのが習わしですが、現在では両家が話合って飾りを分担したり、費用を折半することが一般的になってきています。地方によっては男児第一子に限り父方の実家から贈ったり、父親が婿養子の場合は父方の実家より贈るという地方もあるようです。

## 桃の節句 $\frac{3}{3}$



## 端午の節句 $\frac{5}{5}$



## ■お祝いを贈る時期

一般の贈答は半月前頃から当日までで良いですが、飾りものは一ヶ月前位から一週間前頃までに贈ります。また、赤ちゃんが生まれたばかりで初節句を迎える場合は一年延期してもマナー違反にはなりません。

## ■お祝い返しの時期

内輪の祝宴に招く人は当日の会食で相当、招かない人へは一週間以内に「内祝」を贈ります。

## ■お祝い金額の目安

お祝い金は身内で1万円位、隣人・知人・友人なら3千円～5千円程度が一般的です。



## ■ご贈答のマナー

贈答様式	贈り元	献辞（表書き）	慶弔用品
祝い品を贈る	身内・身内以外	御初節句お祝 初節句御祝 御祝	【のし紙】花結び祝
祝い金を贈る	身内・身内以外	御初雛御祝（女兒） 御初幟御祝（男児）	【のし袋】花結び祝 【金封】赤白花結び 赤白あわび結び
祝い返し	子供の親	内祝 初節句内祝	【のし紙】花結び祝 【掛紙】雛人形／武者兜



【のし袋】



【金封】



【のし紙】